

さまざまな体験活動が 将来を考える材料に

合志南小学校では9年前から南小フェスティバルを実施。土曜授業、そしてキャリア教育の一環として子どもたちの体験活動をサポートし、将来を考える手助けをしています。

学校とPTA、南っ子支援ボランティアの会が呼び掛け、地域の大人たちが講師として教室を訪問。子どもたちは、講師による職業紹介や体験を通じて身近な大人がどのように仕事をしているのか、仕事内容や思いに触れます。ほかにも、もの作りや科学実験、スポーツ体験、昔遊びや国際交流など、学校全体に36もの体験ブースを設置。フェスティバル当日は125人のボランティア講師と117人の保護者が協力し、学校、保護者、地域が連携した大掛かりな取り組みを成功させました。



合志南小PTA
えんじょうじ ゆたか
圓城寺 豊 会長(黒石原)

4年前から保護者の職業体験を取り入れました。地域の皆さん、南っ子支援ボランティアの会、学校、保護者が協力して取り組んでいます。「目に見えないところで自分の生活がさまざまな仕事に支えられていること」「その中でどういう仕事をしたいか」など、子どもたちが考えるきっかけにしています。また、合志市外から転入した人も多いため、子どもに限らずこの活動を通して地域に人の輪を広げ、次の世代につないでいきたいです。



南っ子支援ボランティアの会 地域コーディネーター
うえの いくお かわた あいこ
左 上野 育夫さん(群)・右 川畑 愛子さん(桜路)

フェスティバルの企画や講師依頼、事前準備、当日の運営を行ないました。子どもたちにとって、身近な人の仕事を知り何かを教わるという経験はプラスになるし、人とのつながりを生みます。児童約900人を相手にするこのイベントは大変ですが、学校中の子どもたちの笑顔を見て「やってよかった」と毎年思います。フェスティバル以外でも、学校が求める人材と「何か協力したいけど、どうしたらいいかわからない」という人・団体を結ぶパイプ役として活動しています。学校と地域をより広く深くつなぎ、みんなが輝ける地域づくりに役立てたらうれしいですね。



熊本県警察本部刑事部鑑識課
たけはら しげのり
竹原 茂範さん(黒石原)と警察犬ナイキ

いろんな仕事を知るいい機会だと思います。講師として参加しましたが、私も保護者の一人です。子どもたちに警察の仕事を知ってもらうとともに、娘が警察官としての父親を見て誇りに思ってくれたらうれしいですね。



すずかけ台自治会の皆さん

竹馬・お手玉などの昔遊びや、グラウンドゴルフ・車輪回しなどのスポーツ体験では、私たちだけでなくいくつもの地元地区や団体が参加しました。子どもたちと接するうちに顔見知りになり、自然と笑顔になります。これからも私たちにできることは協力していきたいです。



茶道裏千家
ひぐち 樋口 キクエさん(すずかけ台)

地域コーディネーターの声掛けで茶道の講師をしました。子どもたちとの時間はとても楽しく、皆さんの元気をもらいました。来年もまた参加したいです。



【体験内容】①国際交流 ②フラダンス ③新聞作り ④クリスマスツリー作り ⑤美容師の仕事 ⑥警察の仕事 ⑦介護の仕事 ⑧エコ体験 (ごみの分別・パッカー車乗車体験など)

子どもたちの声
(抜粋)

●6年生「国際理解・世界が100人の村だったら」
自分はふつうにご飯を食べたり水を飲んだり、おかしを食べただけ食べられます。でも、世界には食べ物すらあまりなく、多い人数で少ない量を食べないといけないところもあるのに、自分は何も考えないで食べてきたなと思います。今日からはむだづかいのないように生活したいと思います。ありがとうございました。

●6年生「歯科医師体験」
虫歯を見つけるのが大変だったけど、歯医者さんはそれを見つけて治療するのですごいと思いました。友達の歯を見るのが楽しかったです。歯は自分の体を支えることができるほどかたいと知ってびっくりしました。とてもいい経験になったと思います。

●5年生「警察の仕事」
警察犬をテレビでしか見たことがなく本当に見たのは初めてでした。命令などをきいて、とてもすごいと思いました。鑑識体験では初めて自分の指紋をとってみたり、初めて手錠をさわってみたりしてすごいと思いました。いそがしいときに本当にありがとうございました。

11月18日、このような活動が認められ、合志南小学校PTAは平成28年度優良PTA文部科学大臣表彰を受けました。

